

郡 市 学 会

十日町市中魚沼郡  
**歯 科 学 術 講 演 会**

日歯生涯研修対象学会

(ICカードをご持参下さい)

日 時：平成25年9月21日(土)  
午後2:00～午後6:20

会 場：クロス10  
3F レセプションホール

十日町市本町6丁目  
TEL. 025-757-2323

主催 (一社)十日町市中魚沼郡歯科医師会  
共催 (一社)新潟県十日町技工士会



# プログラム

司会 十日町市中魚沼郡歯科医師会学術理事

中 林 靖

2:00 ~ 2:10 開会の挨拶

十日町市中魚沼郡歯科医師会会長

鈴木 宏

2:10 ~ 6:00 講 演

総義歯治療における歯科医師の責任

あいざわ歯科医院

相 澤 正 之

BPS エステティックデンチャーの理想へのみち

～印象採得から総義歯装着までのサポート～

ID.T. デンタル ラボラトリー

岩 城 謙 二

6:00 ~ 6:20 質 疑 応 答

6:20 閉会の挨拶

十日町市中魚沼郡歯科医師会副会長

伊 藤 淳 一

## 総義歯治療における歯科医師の責任

総義歯治療ほど歯科医師と歯科技工士の連携が必要であることは、想像に難しくない。が、しかし、現実にはどこまで行えているのだろうか？ 総義歯治療において、印象より咬合が大事とはよく聞くものの、治療の入り口は間違いなく印象である。正確な概形印象採得、研究用模型の作製、各個トレーもしくは印象用咬合床などの外形ラインの設定は歯科医師の責任において歯科医師が行うべきことであり、そこから歯科技工士とのディスカッションが始まることによりより良い総義歯が作製されると私は考える。そこで今回は歯科医師、歯科技工士そして患者自身も含めた三位一体の治療が容易に行えるBPSを紹介するとともに、BPSをベースに行っている私の総義歯治療の実際を皆様に見ていただき、ご意見をいただきたいと思う。

### 略歴

#### あいざわ歯科医院 相澤 正之

昭和46年 宮城県生まれ  
平成7年 日本大学歯学部卒業  
日本大学歯学部歯科補綴学第一講座入局  
平成16年 あいざわ歯科医院開業  
平成17年 日本大学歯学部歯科補綴学第一講座兼任講師  
平成20年 BPS認定医取得  
平成22年 イボクラールピバデント社(リヒテンシュタイン)にてBPS研修参加  
平成25年 Gerber Registration Technique(スイス)修了  
総義歯臨床実技コース修了  
JDA準会員  
GDA代表

## BPS エステティックデンチャーの理想へのみち —印象採得から義歯装着までのサポート—

通常、歯科技工士に係る総義歯のフローチャートは、審査・診断に用いられる研究用模型の製作からはじまり、印象採得用の個人トレー、咬合採得時の作業用模型上で製作した咬合床、咬合器装着後の咬合床に人工歯排列された蠟義歯、試適が完了した後のレジン重合、削合・研磨工程を行い、咬合調整して口腔内に装着される。だが、ほとんどの場合、患者さんへの立ち会いは、蠟義歯試適時もしくは義歯装着時であろう。これでは、患者さんの口腔内および口腔周囲組織における情報の共有化は困難であり、研究用模型や作業用模型から口腔内の状況を判断する研究を重ねるよりも、むしろ印象採得および咬合採得等に立ち会い、直接口腔内の状況と採得された情報を確認した方が、歯科医師との信頼関係は構築され、義歯の製作技術向上につながるものと確信している。

そこで、歯科医師とのサポートスキルの要点について、一連の技工操作を通して説明する。

### 略歴

#### I.D.T. デンタル ラボラトリー 岩城 謙二

1971 東京生まれ  
1994 日本歯科大学付属歯科専門学校卒業  
1996 同専攻科 铸造床 卒業  
2000 I.D.T. デンタル ラボラトリー開設  
2003 BPS 認定技工士取得  
2007 BPS 世界コンテスト 世界第1位受賞  
2010 イボクラピバデント本社(リヒテンシュタイン公国) 研修  
2012 スイス チューリッヒにて Gerber Denture Course 修了  
2012 日本顎咬合学会にて(デンチャーベースカラーリングにおける表面性状に関する研究(第1報))を発表  
2012 医歯出版8月号(匠)掲載、9・10月号(義歯の長期安定を求めたデンチャーベースカラーリング技法の提案)掲載  
2013 スイス チューリッヒにて Gerber Registration Technique 修了  
2013 日本顎咬合学会にて(デンチャーベースカラーリングにおける表面性状に関する研究(第2報))を発表